

## 第6学年A組 社会科学習指導案

授業者 鈴木 聡  
研究協力者 外池 智、加納 隆徳

### 1 単元名 調べて発見！～戦国の世の統一～

#### 2 子どもと単元

##### (1) 子どもについて

第6学年「日本国憲法」や「国の政治のしくみ」では、選択した視点に基づき個々に調べた情報をグループや全体で情報交換するジグソー学習に取り組んだ。教科書や資料集だけではなく、インターネットやコミュニケーションアプリも活用しながら目的に応じて文書資料や画像資料を収集する力が高まってきている。

また、「歴史と人々の生活」に区分される内容の学習において、我が国の主な歴史上の事象に着目して、それぞれの時期における世の中の様子について考えることを経験してきている。例えば「縄文のむらから古墳のくにへ」では、大陸から稲作が伝わったことや大和朝廷による統一の様子から世の中の様子の変化を考え、自分なりに説明することができた。

その一方で、社会的事象の特色の説明に関する課題として、学習問題に対する自分の考えとそれを支える根拠を区別し論理的に考え、説明する力が十分とは言えないことが挙げられる。そのため、考えと根拠を区別する意識を高めること、さらには論理的に考え、説明する力を育てていく必要がある。

##### (2) 単元について

本単元における「学びのものさし」を更新する姿を、戦国の世が統一されたことについて考えと根拠を区別し、論理的に考え、説明する姿であると捉える。

本単元は、ヨーロッパ人の来航によるキリスト教や鉄砲の伝来、織田信長や豊臣秀吉の領地拡大や政策に着目し、年表や地図、屏風図、想像図、写真などの各種資料を活用して調べ、群雄割拠の状態から戦国の世が統一されたことについて理解することをねらいとしている。一人一人が選択した視点（戦い方、外国との交流、政策）に基づいて追究し、仲間との情報交換を通して、群雄割拠の状態から、織田信長が勢力を伸ばし、豊臣秀吉が天下統一を成し遂げた背景を考える。

また、信長の家来であった秀吉が、信長亡き後に行った取組には共通点や相違点があるため、戦国の世が統一されたことについて、戦い方、外国との交流、政策の複数の視点を関連付けたり総合したりして考える必要が生じる。さらに、戦国の世が統一されたことを説明するためには、自分の考えと自分の選んだ根拠を区別し、考えと根拠のつながりを理由付けて説明する必要があり、自分の考えを論理的に説明する力の高まりも期待できる。

これらを踏まえ、**織田信長と豊臣秀吉の戦い方、外国との交流、政策の複数の視点を関連付けたり総合したりして、戦国の世が統一されたことを考える**という資質・能力を高めることを目指す。

##### (3) 指導について

研究の重点一つ目との関連から、自分の言葉で説明する必然性のある学習過程とするために、自分の考えを仲間に説明する活動として二段階の情報交換を単元に位置付ける。そこで単元の導入において、学級全体で共有した予想に基づき、例えば、戦い方、外国との交流、政策などから追究したい視点を選択する場を設ける。一段階目の情報交換を選択した視点が同じ仲間、二段階目を選択した視点が異なる仲間とし、自分の考えを補強すること、自分にはなかった新たな考えを取り入れること、自分と仲間の考えをつなげることなど目的意識をもった情報交換にする。

研究の重点二つ目との関連から、論理的に説明する力を高めるために、学習問題に対する考え、根拠、さらに考えと根拠のつながり（理由付け）を可視化し、それを基に説明する場を設定する。考え、根拠、理由付けを可視化するための思考ツールとして、ツールミン図式・クラゲチャート・キャンディチャートを提示し、選択できるようにする。また、情報交換の際には、自分の考えと根拠の区別や考えと根拠をつなぐ理由付けが妥当であるのか繰り返し見直すことができるように、表現した思考ツールを修正する場を設ける。

### 3 単元の目標（記号は本校の資質・能力表による）

- (1) ヨーロッパ人の来航、織田信長と豊臣秀吉の勢力拡大や政策に着目し、群雄割拠の状態から戦国の世が統一されたことを理解することができる。また、年表や地図などの資料で調べ、項目や関係などを整理してまとめることができる。 〈ア-10・イ-23・24〉
- (2) 織田信長と豊臣秀吉の戦い方、外国との交流、政策の視点を関連付けたり総合したりして、世の中の様子の変化を考え、戦国の世が統一された背景を説明することができる。 〈イ-25〉
- (3) 戦国の世が統一されたことについて、予想を立てたり、自分の考えや根拠、その理由付けを見つめ直したりして、学習問題をよりよく解決しようとしている。 〈ア-6・7・8〉

4 単元の構想（総時数6時間）

調べて発見！武士の世の中  
源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いを関連付けたり総合したりして、武士による政治が始まった頃の世の中の様子について考える。

本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	(1) 資料から読み取ったことを基に、織田信長と豊臣秀吉が天下統一を目指しどのようなことをしたのか話し合う。	・織田信長と豊臣秀吉の業績の概要をつかむことができるように、年表や屏風図、写真等の資料を提示し、資料のどこから二人の力の大きさが分かるかを問う。	・織田信長と豊臣秀吉の大まかな業績について資料から読み取っている。 (イ-23)
2	(2) 信長と秀吉の勢力拡大の様子に着目し、生まれた疑問から学習問題を見だし、追究する視点を設定する。	・信長と秀吉の勢力拡大に関する疑問が生まれるように、信長と秀吉が治めた範囲の地図を提示し、1560年、1582年、1590年の変化を問う。	・信長と秀吉の勢力拡大について地図や年表等の資料から読み取ったことを基に予想し、追究する視点を設定している。 (ア-6・7・8)
<p>学習問題</p> <p>なぜ尾張の小さな大名であった織田信長が勢力を伸ばし、その家臣である豊臣秀吉が天下統一を成しとげることができたのだろうか。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦い方を工夫したからだと思う。鉄砲を使ったり作戦を考えたりして相手を破っていたのではないか。</li> <li>・ヨーロッパとの貿易を盛んにしたからだと思う。日本にない鉄砲を手に入れたのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題の解決に主体的に取り組むことができるように、学級全体で共有した予想に基づき、自分で追究したい視点を選択する場を設ける。</li> </ul>	
3	(3) 自分の選択した視点(戦い方、外国との交流、政策)に沿って信長や秀吉の業績について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長篠の戦いの勝利は、大量の鉄砲をもっていることで連合軍が有利に戦えたと考えることができる。</li> <li>・堺の支配やキリスト教の保護により、大量の鉄砲を手に入れることができたと考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決のために必要な情報を収集することができるように、活用できる資料を確かめたり、図書資料を準備したりする。</li> <li>・考えと根拠を区別して表すことができるように、選択した思考ツール(トゥールミン図式・クラゲチャート・キャンディチャート)に考え、根拠、理由付けを整理する活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から情報を集め、信長と秀吉の業績について、ノートやタブレット端末に記録したり、思考ツールに整理したりしている。 (ア-10)</li> </ul>
4	(4) 選択した視点が同じ仲間と情報交換し合い、必要な情報を取り入れたり、自分の理由付けや根拠を見直したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の説明が妥当であるのか吟味したり仲間の説明とつなげたりすることができるように、選択した視点が同じ仲間と情報交換する場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ツールに表した理由付けや根拠を修正している。 (ア-10)</li> </ul>
5 本時	(5) 選択した視点が異なる仲間と情報交換し合い、戦国の世が統一されたことについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦い方、外国との交流、政策の視点を関連付けて戦国の世が統一されたことを考えることができるように、選択した視点が異なる仲間と思考ツールを活用して情報交換する場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国の世が統一されたことを、複数の視点を関連付けて説明している。 (イ-25)</li> </ul>
6	(6) 学習問題について、自分の考えをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・南蛮貿易や産地の支配により、大量の鉄砲を手に入れ、戦いを有利に進めたことで勢力を広げた。楽市楽座や検地など政策も工夫し、治めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国の世が統一された理由について自分の考えを再構築しながらまとめることができるように、単元の始めには自分になかった視点や自分の考えを補強した仲間の考えは何かを問いかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国の世が統一された理由について自分なりにまとめている。 (イ-25)</li> </ul>

◎本単元で育む主な資質・能力

織田信長と豊臣秀吉の戦い方、外国との交流、政策の複数の視点を関連付けたり総合したりして、戦国の世が統一されたことを考える。(イ-25)

調べて発見！江戸幕府と政治の安定

江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国など幕府の政策を関連付けたり総合したりして、武士による政治が安定したことを考える。

5 本時の実際 (5 / 6)

(1) ねらい 戦い方、外国との交流、政策に着目し、織田信長が勢力を伸ばし、豊臣秀吉が天下統一を成し遂げたことについて視点を基に話し合う活動を通して、戦国の世が統一されたことについて複数の視点を関連付けて考え、説明することができる。  
(イ-25)

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
3分	<p>① 前時の学習を振り返り、学習問題を確かめる。</p> <p>問題 なぜ尾張の小さな大名であった信長が勢力を伸ばし、その家来である秀吉が天下統一を成しとげることができたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動に見通しをもつことができるように、学習問題を見いだす際に読み取った地図や年表の資料を提示し、織田信長と豊臣秀吉が治めた範囲の変化を確かめる。</li> </ul>
37分	<p>② 戦国の世が統一されたことについて視点を基に話し合う。 (グループ→全体) &lt;予想される子どもの反応&gt;</p> <p>【戦い方の視点を選択した子どもの考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桶狭間の戦いや長篠の戦いに勝利したことから、戦い方を工夫することで相手に勝ち、勢力を伸ばすことができた。</li> </ul> <p>【外国との交流の視点を選択した子どもの考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南蛮貿易を行ったことは、大量の鉄砲を手に入れることにつながった。</li> </ul> <p>【政策の視点を選択した子どもの考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堺や鉱山の支配、検地は、豊富な資金を得ることにつながった。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【複数の視点の関連に気付くことができない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信長は堺を支配していたんだ。堺とはどんな場所なのだろう。</li> <li>秀吉が行った刀狩りは、資金を集めることにつながり、財力を高めた。</li> </ul> <p>【複数の視点の関連に気付き始めている】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ視点が違うのに、鉄砲や資金など共通している根拠があるのだろう。</li> <li>堺は貿易港だけではなく、鉄砲の産地でもある。</li> <li>高価な鉄砲を大量に手に入れるためには資金が必要だ。資金をどうやって集めたのだろう。</li> </ul> <p>【複数の視点を関連付けて考えている】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堺を支配し鉄砲を手に入れたことと、長篠の戦いで大量の鉄砲を使ったことがつながる。</li> <li>鉄砲を使う戦い方を工夫したことと、南蛮貿易で鉄砲を手に入れたことがつながる。</li> <li>貿易都市や鉱山の支配、検地により豊富な資金を集めたことが、他の大名をたおし天下統一につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦国の世が統一されたことについて自分にはない新たな考えを取り入れたり、自分と仲間の考えを関連付けたりして考えることができるように、選択した視点が異なる仲間との情報交換の場となるよう、事前にグルーピングしておく。</li> <li>考えと根拠を区別し、論理的に説明することができるように、情報交換では自分の考え、根拠及び理由付けを可視化した思考ツールを用いながら説明することとする。</li> </ul> <p>○戦国の世が統一されたことについて戦い方、外国との交流、政策の複数の視点を関連付けて考えることができるように、視点が異なるのにも関わらず鉄砲、資金、貿易港の支配など共通している根拠があるという気付きを全体で取り上げ、話し合いのきっかけとする。その上で戦い方・外国との交流・政策の視点のつながりについてグループで関係図に表す活動を取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の視点の関連に気付くことができるように、どのようにして高価な鉄砲を大量に手に入れることができたのか問いかけ、戦い方・外国との交流・政策を関連付けて考えることへの方向付けを図る。</li> </ul>
5分	<p>③ 本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信長は南蛮貿易で鉄砲を手に入れたり、堺などの産地で鉄砲を生産したりした。そのことで大量の鉄砲を戦いに役立て有力な大名をたおし、勢力を伸ばしていった。後をついだ秀吉は関白となり力を強めたり、ばく大な財力をたくわえたりしたことで他の大名の力をおさえ、天下統一を成しとげた。</li> </ul>	<p>○学習問題に対する自分なりの考えを再構成することができるように、本時の学びを整理する場を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>戦国の世が統一されたことについて、織田信長と豊臣秀吉の戦い方、外国との交流、政策の複数の視点を関連付けて考え、自分なりに説明している。 (イ-25) (発言・ノート)</p> </div>

# 令和5年度 社会科実践・研究計画

部 員	○石田 智之、鈴木 聡
-----	-------------

研究テーマ  
**自らの学習状況を見つめながら、主体的・協働的に学習問題の解決に取り組む子どもを育む学び**

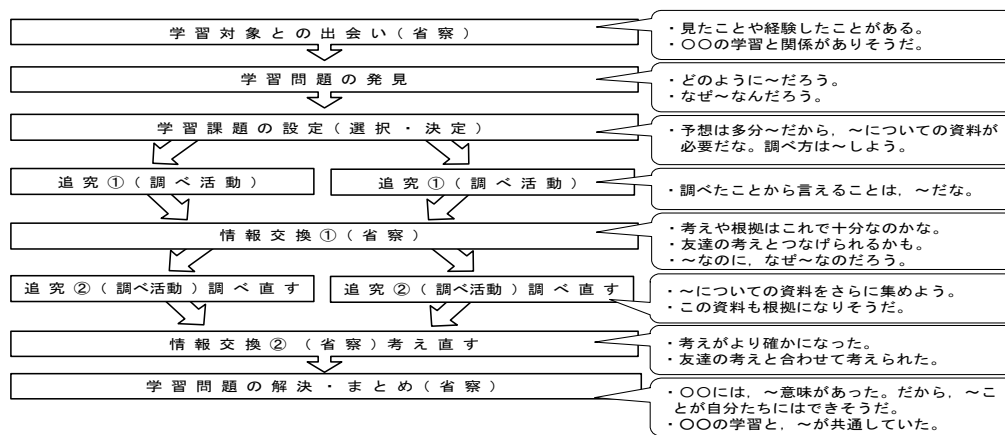
## 1 研究テーマについて

社会科では、社会的事象について捉え直すことを通して、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする子どもを育むことが重要である。主体的・協働的に学習問題の解決に取り組むとは、社会的事象の追究を自分ごととし、自分たちにできることを考えたり、自分の意見を決めたりすることである。そのためには、社会的事象について複数の立場や意見を踏まえ、多角的に考察し、広い視野で捉える必要がある。さらに、社会的事象は多様な解釈ができるため、仲間と協働的に問題解決に取り組むことを通して、自らの学習状況を見つめ、自分の考えを発展させようとする姿を引き出すことが期待できる。

昨年度までの実践において、自分の考えと仲間の考えをつなぎながら社会的事象について深く考察し、考えを発展する力が十分には身に付いていない点で課題が残った。そこで今年度は、自らの考えを見つめ直し、自分の考えを練り上げていく力を高める学習過程にするための手立てを重点として実践・研究を進めていく。社会的事象について広い視野から捉えられるよう、価値ある資料提示や効果的な情報交換の場を設定し、「学びのものさし」の更新を目指す。このことにより、自分の言葉で説明する必要感をもって調べ直したり考え直したりすることで、社会的事象を多角的に考察し、広い視野から捉えるための「学びのものさし」が確かになり、よりよい社会を考え主体的に問題解決する姿を引き出すことにつながると考える。

### 社会科で目指す自律した子どもの姿

- ・ 学習問題の解決に向けて見通しをもち、自らの学習状況を見つめ、調べ直したり考え直したりしながら社会的事象を追究している姿。
- ・ 社会的事象の特色や相互の関連、意味について、根拠や理由を明確にして説明している姿。



図：社会科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

## 2 研究の重点〈○は具体的な取組の例〉

- 自分の考えを練り上げていく力を高める学習過程にするための手立てを工夫する。
- 社会的事象について、多角的に考察し、自分の考えや意見を定めるための手立て
    - ・ 複数の資料や日常生活につながる事象等、価値ある問いを促す資料提示をする。
    - ・ 問題の解決や自らの生活への活用を意識した、自分なりの考えを説明する場面を設定する。
  - 必要感のある省察につながる情報交換の場の設定
    - ・ 互いの考えのずれや曖昧さを情報交換によって焦点化し、全体で共有する。
    - ・ 収集した資料や思考ツールを活用した情報交換とする。

## 令和5年度「社会科の資質・能力」表

※□は、資質・能力の取り扱い学年、■は、定着学年を示す。

内容		学習指導要領との関連内容	3年	4年	5年	6年
社会科の学びに向かう力、人間性等	ア1	社会的事象について主体的に問題解決し、社会的事象の特色や相互の関連、意味などを考えようとする。	□	■	■	■
	ア2	社会的事象について主体的に問題解決し、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。	□	■	■	■
	ア3	社会的事象について主体的に問題解決することを通して、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために協力しようとする意識をもとうとする。			□	■
	ア4	社会的事象について主体的に問題解決することを通して、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚をもとうとする。			□	■
	ア5	生活経験や資料、日常的な情報(図書、新聞、テレビ等)、体験的な活動の中から、疑問や追究したいことを発見しようとする。	□	■	■	■
	ア6	社会的事象にかかわる追究活動や学習成果を共有することを通して、新たな疑問や追究課題を見つけようとする。		□	■	■
	ア7	自分や仲間の問題意識を大切にしながら、社会的な事象の追究にかかわる学習問題を設定しようとする。	□	■	■	■
	ア8	予想に基づいて自分なりの学習問題を設定し、解決する方法を考えようとする。		□	■	■
	ア9	学習課題や対象となる社会的事象に応じた調べ学習の手段(図書資料、インターネット、訪問やインタビュー等)を選択して、学習計画を立てようとする。	□	■	■	■
	ア10	追究の目的に応じた資料(実物や写真、地図・統計資料など)を集めようとする。	□	■	■	■
	ア11	社会の様子や仕組みについて調べたことを、過程や結果を工夫し、情報交換に応じた適切な方法(図、表、イラスト、白地図、年表、グラフ等)を選択しながら表現しようとする。	□	■	■	■

社会科の各領域の付けたい力 地理的環境と人々の生活	イ1	身近な地域や自分たちの市の様子を観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。	□	■	■	■
	イ2	都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現する。	□	■	■	■
	イ3	地域に見られる生産や販売の仕事について見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。	□	■	■	■
	イ5	我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して県の様子をとらえ、地理的環境の特色を考え、表現する。		□	■	■
	イ6	県内の特色ある地域について地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめる。		□	■	■
	イ7	特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現する。		□	■	■
	イ8	我が国の国土の位置、地形や気候の概要、気候条件から見た特色ある地域の人々の生活をとらえ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考える。			□	■

	イ9	自然災害や公害の発生位置、森林の広がりなどを調べ、白地図にまとめる。	5年(5)			<input type="checkbox"/>	■
	イ10	教科書や地図帳に載っている主な地図記号を概ねとらえる。	3年(1)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ11	地図帳や地球儀から情報を読み取り、活用する。	3年(1), (4), 4年(1), (5), 5年(1), (2), (3), (5), 6年(2), (3)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ12	都道府県名とその位置を概ねとらえる。	4年(1), 5年(1), (2), (3), (5)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ13	地図帳に載っている世界の主な国名とその位置を概ねとらえる。	5年(1), 6年(3)			<input type="checkbox"/>	■
社会科の各領域の付けたい力 歴史と人々の生活	イ14	市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことをとらえる。	3年(4)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ15	市の様子の移り変わりについて、聞き取り調査をしたり地図などの資料を調べたりして、年表などにまとめる。	3年(4)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ16	交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子をとらえ、それらの変化を考え表現する。	3年(4)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ17	自然災害から人々を守る活動について、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめる。	4年(3)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ18	県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることをとらえる。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ19	地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことをとらえる。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ20	県内の伝統や文化、先人の働きについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ21	歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子をとらえ、人々の願いや努力を考え、表現する。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ22	当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例をとらえ、先人の働きを考え表現する。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ23	年表を読み取り、活用する。	3年(4), 4年(4), 6年(2)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ24	教科書に登場する歴史人物の業績をとらえる。	6年(2)				■
	イ25	我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産、遺跡や文化財などをとらえ、歴史を学ぶ意味を考えたり、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて表現したりする。	6年(2)				■

社会科の各領域の付けたい力 現代社会の仕組みや働きと人々の生活	イ26	生産の仕事は、地域の人々の生活と密接に関わりをもって行われていることをとらえる。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ27	仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現する。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ28	販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることをとらえる。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ29	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ30	消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることをとらえる。	3年(3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ31	地域の安全を守る働きについて施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現する。	3年(3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ32	飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることをとらえる。	4年(2)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ33	廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることをとらえる。	4年(2)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ34	地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることをとらえる。	4年(3)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ35	過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動をとらえ、その働きを考え、表現する。	4年(3)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ36	我が国の農業や水産業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考える。	5年(2)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ37	我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。	5年(3)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ38	我が国の放送、新聞などの産業は、国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることをとらえる。	5年(4)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ39	我が国の国土の自然環境と自然災害への対応、森林資源の保護、公害の防止に見られる人々の生活や産業との関連を考え、表現する。	5年(5)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ40	我が国の政治の働きについて、民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることをとらえる。	6年(1)				<input checked="" type="checkbox"/>
イ41	世界の中の日本の役割について、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることをとらえる。	6年(3)				<input checked="" type="checkbox"/>	

〈社会科の学びを支える「見方・考え方」〉

a 社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目してとらえ、比較・分類したり、総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりして考える。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

地理的環境と人々の生活

b 位置や空間的な広がり視点に着目して、地理的な社会的事象をとらえる。

歴史と人々の生活

c 時期や時間的な経過の視点に着目して、歴史的な社会的事象をとらえる。

現代社会の仕組みや働きと人々の生活

d 社会的事象と人々との相互関係の視点に着目して、身のまわりで起こる社会的な出来事をとらえる。